

### 第3回 防災対策官民協働委員会議事概要

日 時	平成 26 年 3 月 8 日 (土) 12 : 15 ~ 13 : 45
会 場	佐渡市防災センター 1 階 コミュニティルーム
出席者	<p>アドバイザー：田村圭子（新潟大学危機管理室教授）</p> <p>民：小池正容委員長 佐々木隆正副委員長 岩崎政敏 隅田敏子 松永兼春</p> <p>官：本間聡（総務課） 中原岳史（総務課） 菊池慎也（消防本部警防課） 相田好彦（総合政策課）</p> <p>事務局：秋場和久（総務課）</p>
議 題	<p>進行管理</p> <p>平成 25 年度地域防災リーダー育成事業について</p> <p>事業説明</p> <p>(1) 佐渡市将来ビジョンについて</p> <p>(2) 平成 26 年度施政方針について</p> <p>(3) 平成 26 年度「災害に強い島づくり」について</p> <p>協議</p> <p>(1) 平成 26 年度佐渡市総合防災訓練について</p> <p>(2) 指定避難所及び緊急避難所の整備について</p> <p>(3) その他（平成 26 年度官民協働委員会について）</p>
議事概要	<p>進行管理</p> <p>平成 25 年度地域防災リーダー育成事業について</p> <p>本間主幹より資料説明</p> <p>（主な意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回地域防災リーダーに認定されてもどのような活動をすれば良いのかわからないと思うので、市からアドバイスなどが必要ではないか。</li> <li>・地域防災リーダー設置要綱に「年 1 回は訓練等をする事」としないと活動しない人がいるのではないか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・・・最初は縛りをつけないで自由に活動等をしてもらう。要綱改正はしばらく様子を見てから判断したい。</li> </ul> </li> <li>・地域防災リーダーと日赤の防災リーダーとの連携も今後検討しなければならない。</li> <li>・消防署では消防庁からの通達により、今後消防団等の他団体と連携した訓練に取り組んでいく。</li> </ul> <p>（田村アドバイザーより）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時は役割で判断してはならない。機能をどう回していくかを考えなければならない。</li> </ul>

事業説明

- (1) 佐渡市将来ビジョンについて
- (2) 平成 26 年度施政方針について
- (3) 平成 26 年度「災害に強い島づくり」について

本間主幹より資料説明

- ・地域防災マップの掲載内容を委員の皆様から協議していただきたい。

(主な意見)

- ・緊急情報伝達システムの加入率が低いのは、福祉部局の緊急通報システムと勘違いしている人がいるからである。
- ・災害時要援護者の名簿等、もっと社協等に情報してほしい。
  - ・ ・ ・ 災対法で名簿提供範囲は緩和されたが、地域防災計画に提供機関を載せることとなっている。しかしまだ国から詳細が示されていない。

協議

- (1) 平成 26 年度佐渡市総合防災訓練について
- (2) 指定避難所及び緊急避難所の整備について

本間主幹より資料説明

- ・平成 26 年度の総合防災訓練は 10/26（日）を予定。
- ・市内 20 箇所に防災備蓄倉庫を設置予定。特に危険なところで空白地域があるが、全地区をカバーできるよう今後協議する。
- ・裏山等の高台がない両津地区の湊と夷に津波避難タワーを 1 基ずつ設置する予定。

- (3) その他（平成 26 年度官民協働委員会について）

本間主幹より説明

- ・当委員会は平成 26 年度も引き続き同じメンバーでお願いしたい。
- ・平成 26 年度は避難所の検討を行っていきたい